



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2013～2014年度 RI会長 ロン D. バートン

RIテーマ Engage Rotary Change Lives ローターリーを实践しみんなに豊かな人生を

クラブテーマ「初心にもどり自分とクラブを見つめ直そう」会長 山本良一

副会長 矢岸貞夫 幹事 加藤正幸

第1173回例会 2014.2.28(金)晴

司会:石井和郎君 指揮:小島 真君
ローターソング「それこそローターリー」

事務所 三島市中央町1-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山本良一君

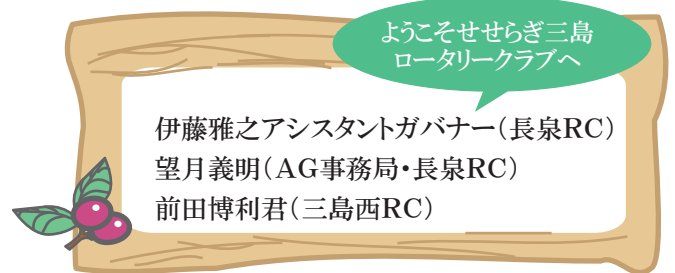
本日は伊藤アシスタントガバナーと望月アシスタントガバナー事務局をゲストとしてお迎えしております、後ほどスピーチをお願いいたします。

2月は世界理解月間です。留学生を介した国際親善、海外の子供たちへの支援、地域での国際交流行事開催など、

世界平和に不可欠な理解と親善に携わる活動がローターリーの友2月号に紹介されています。東京八王子RCがトルコからの青少年交換学生の受け入れ、岩槻中央RCがフィリピンWCS検証ツアーに参加、川口北東RCがパラオ共和国にゴミ収集車を寄贈、郡上長良川RCの青少年交換学生交流会での踊り大会への参加、同じ分区である御殿場RCが2005年1月より2006年1月までオーストラリアからの青少年交換学生との現在までの交流、東京米山友愛RCのネパールの教育支援、岩槻RCの台湾の児童養護施設支援、白根RCが台湾高雄日本人学校へ図書寄贈、東京広尾RCが5クラブ協同でケニアに上総堀りの井戸掘り、などなど、多くの国際交流支援が行なわれています。

我がクラブの「タイの遠距離通学子供たちへのリサイクル自転車贈呈事業」も素晴らしい国際支援活動であり、今後とも継続していくべき事業ですが支援金額も含め再考の必要もあろうかと思えます。

函南町柿沢川の堤防に河津桜の並木があり「函南さくら」として、毎年2月～3月が見ごろとなります。この桜並木は2001年より災害により護岸が再整備されたのを記念し、約400本を植樹、10年以上経過し今が見ごろとなりました。函南町では観光客のために今年初めて専用の駐車場を設け(2月15日～3月16日)、多くの観光客に来ていただき、将来は河津町まで行かなくとも函南さくらでお花見を願っています。



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	27/32	84.38%	29/32	90.63%
今回	26/32	81.25%	会員総数	34名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。
大房君、久保君、杉山(隆)君、仲原君、服部君、米山君

おめでとう

会員誕生日 2月23日 石井司人君

今日の料理



幹事報告

幹事 加藤正幸君

①3/14(金)の例会は、米山記念館にての例会に変更いたします。

②ポケットに3/23(日)の春の家族会のご案内を入れさせていただきます。多数のご参加をお待ちしております。

伊藤雅之君



1月25日の、静岡第2分区のIntercity Meetingにせせらぎ三島RCより多数の会員の皆様にご出席頂き、心より感謝申し上げます。

各クラブ活動紹介では、いろいろお骨折りをいただきましたが、大変評判がよく多くの方から、是非またやってほしいとのご意見をいただきました。(中には3年に一回やれという激励もありました。)クラブ活動紹介という、とかく固くなりそうなテーマですが、スライド上に知っている顔が沢山見られて、いっぺんに会場が和みましたこと大変良かったと思います。

2月8日、9日に地区大会には、大雪の中、多くの皆様のご参加ありがとうございました。山梨地区はほとんど、出席できないという、恐らくRI2620地区初めてのことだったと思いますが、大会そのものは志田ガバナーのカラーがよく出たいい大会だったと思います。志田ガバナーが『旅』というテーマで、各クラブ訪問時の印象、エピソードなどを話されました。話に熱が入ったせいか、山梨地区の話題で盛り上がり、静岡第2分区まで来たときには、時間がなくなり、せせらぎ三島RCまで到達しませんでした。もし到達していれば、かつて、山本会長と一緒に北欧旅行をしたことを、ガバナー訪問で改めて知ったこと。「まさにロータリーの縁であり、ロータリー・モーメントである。」などと話されたのではないかと思います。残念です。

(御願い)

① 会員増強、維持について

現在、2620地区は約70人の会員が増えています。しかしながら例年、年度末になると80名以上の方が退会されています。そうならないように、会長、幹事、会員維持増強委員長はじめ皆様のご協力をお願い致します。

② クラブ定款、細則の見直し

今年は規定審議会が開かれ、いくつかの規定の変更が行われました。その中で定款、細則の見直しが必要なものもいくつか出てまいりました。各クラブに於かれまして是非、ご確認をお願い致します。

以上2点の御願いで4月1日、志田ガバナーが静岡第2分区を訪問されます。当日は、伊豆中央RCに7クラブの会長、幹事の皆さんにお集まり頂き、志田ガバナーの話をお聞きます。是非その折、各クラブのご意見をいただければ幸いです。

スマイルボックス

小林 勝君:先日は、私の58回目の誕生日というもうめでたくもない記念日ですが皆様に祝っていただきありがとうございます。ありがとうございました。

加藤正幸君:パッケージプラザカトウでは来週4日～8日まで春のビッグセールを開催します。ぜひご利用ください。メンバー様には配達します。

クラブ細則検討委員会

クラブ細則検討委員長 兼子悦三君
クラブ研修リーダー 中村徹君

- 1、3年に1度の規定審議会が昨年、2013年にあり、2014年2月、推奨ロータリークラブ細則が国際ロータリー日本事務局から発表され、手続要覧に定款とともに記載され、皆さんのお手元に届いたかと思えます。
- 2、いずれ皆さんは幹事になり、クラブ運営の事務方として運営手続きに精通していなければなりません。
- 3、手続要覧には組織構造、ロータリーの使命の遂行、国際会合、組織規程などロータリー全般に関する基本事項、運営方針、手続など「ロータリアンの手引き」が記載されています。
- 4、しかし、クラブは国際ロータリーの方針を参考にするとしても、実施において、クラブ細則の改定に関しては最大限の柔軟性が認められています。
- 5、今回、定款、クラブ細則、内部規定の改定作業にかかわることは、来年以降のクラブ運営に必要な組織作りであり、ロータリー運動の根幹に触れるチャンスでもあるかと思えます。ロータリーの知識はもちろん必要ですが、知識よりむしろクラブ運営には「和して同ぜず」の精神の大切さが問われます。
- 6、山本良一会長、矢岸貞夫会長エレクトのご指導を仰ぎながら、3月中に石井邦夫副委員長、会員有志を交えて開催したいと思います。

